渡部りょう通信

発行
渡部りょうとつくる平塚

平塚市代官町13-11
電話0463-79-8497
FAX0463-79-8498
info@watanabe-ryo.net
https://watanabe-ryo.net

1979年生まれ（43歳）、二児の父。花水小、浜岳中、江南高校、神奈川大学卒業、慶應義塾大学大学院修士課程修了。
元平塚市職員、元プロスノーボーダー、舌がんサバイバー。2019年に市議会議員に初当選。教育民生常任委員会委員。

神奈川大学湘南キャンパス売却へ
売却先の条件を要望

私の母校である神奈川大学が土屋地区にある湘南ひらつかキャンパスの売却を検討しています。

この場所は市街化を抑制すべき区域である市街化調整区域にあるため、市はこれまで用途変更をすることは難しいと答えていました。

しかし、不動産関係者から得られた物件概要に「平塚市との用途変更手続きが必要（平塚市は変更に前向き）」とあったため、総括質問で同僚議員に質問してもらいました。

市は「用途変更の協議を行っていない、大学は関知していない」と答えました。

地域の安心・安全な生活環境を脅かすような社会的に問題が指摘されている団体等に売却されないか危惧しています。

大学側に売却先の条件を伝えるよう市に強く要望してまいります。

物件概要

	内容
所在地	平塚市土屋２９４６
面積	２９９，５６３㎡（９０，６１７坪）参考：７４エーカー
用途地域	市街化調整地域
建ぺい/容積	５０%/１００%
現況	神奈川大学湘南キャンパス
交通	小田急「秦野」駅よりバス１５分　JR「平塚」駅よりバス３０分 小田原厚木道路「平塚」IC下車５分 東名高速道路「秦野中井」IC下車８分
金額	未定（８０億円以上　坪当たり８８千円）
備考	・２０２４年４月閉校予定 ・現況渡しを予定、年内売却先を決定（理事会でのプレゼン開催予定） ・駐車場1,000台分確保 ・平塚市との用途変更手続きが必要（平塚市は変更に前向き） ・学校入り口の神奈川中央交通の路線バス発着場の継続利用の希望あり ・地場夏祭りに毎年校内の駐車場を貸出している（継続希望）

可燃ごみの戸別収集区域が拡大

これまで夕陽ヶ丘、立野町、追分、大神の一部で実施されていました可燃ごみの戸別収集が、２０２２年10月から拡大されます。

対象地域は、港地区（高浜台・代官町・久領堤・札場町・幸町・千石河岸）、崇善北地区（浅間町・宮松町）、田村・大神地区（田村１～９丁目・大神・吉際）です。

戸別収集は高齢社会の進展に伴い、ごみ集積所へのごみ出しや、ごみ集積所の維持管理等が難しくなる状況が予測されることや、更なるごみの減量化及び資源化が必要な状況であることから、市内全域での導入に向け社会実験が行われています。

１・４倍の車両と１・３倍の作業員が必要

２０１９年10月から２０２１年３月末まで実施した「家庭系可燃ごみ戸別収集の社会実験結果について」によると、戸別収集方式は従来のごみステーション方式に比べ、１・４倍の車両と１・３倍の作業員が必要であることがわかりました。

つまり、市内全域に拡大するためには、相応の経費がかかります。

市は、これまで直営で行ってきた可燃ごみとプラクル・ペットボトルの収集業務の一部を民間に委託することで年間２千万円弱の経費を削減しています。

市は戸別収集によるごみ袋の有料化を否定していますが、持続可能な社会を目指すにはごみ袋の有料化は避けられないと思います。

ごみ処理にかかる費用を抑制できれば、ごみ袋の費用負担を減らせます。ごみの減量化に努めましょう。

後援会のご案内

渡部りょうを応援してくださる後援会員を随時募集しています。

後援会にご入会いただいた皆様には、市政報告（無料）の送付、および後援会行事のご案内をさせていただきます。

市政報告の配布やポスター掲示のご協力も大歓迎です。

皆様からのご入会を心よりお待ちしております。

TEL 0463-79-8497
FAX 0463-79-8498

見直しプランの公表
龍城ヶ丘ゾーン公園整備

市は８月24日、湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・運営事業の施設配置等を見直した新たなプランを公表しました。

従来のプランでは、交通対策上の懸念点があるとして、県と県警との協議の中で安全性への配慮を求められていました。

駐車台数が減少 樹林の保全率向上

今回示されたプランでは、交通面の諸課題を解消するため、東西にそれぞれ60台ずつ計120台を整備予定だった駐車場を東側の1カ所に集約しました。

塩・風害や飛砂観測調査の結果を踏まえ、約1・2ヘクタールある既存樹木の保全率を37％（約0・46ヘクタール）から53％（0・67ヘクタール）に引き上げました。

風や塩、飛砂による内陸部への影響を軽減するため、プール跡地周辺や駐車場北側への新規植栽や、ハマヒルガオ等の海浜植物の保全・育成にも取り組みます。

整備エリア中央に建設予定だったマルシェ棟は東駐車場側に移設し、カフェ施設はバーベキューレストランと統合しました。

２０２４年４月に着工し、２０２５年春のオープンを目指します。

新たなプランで考えられる課題

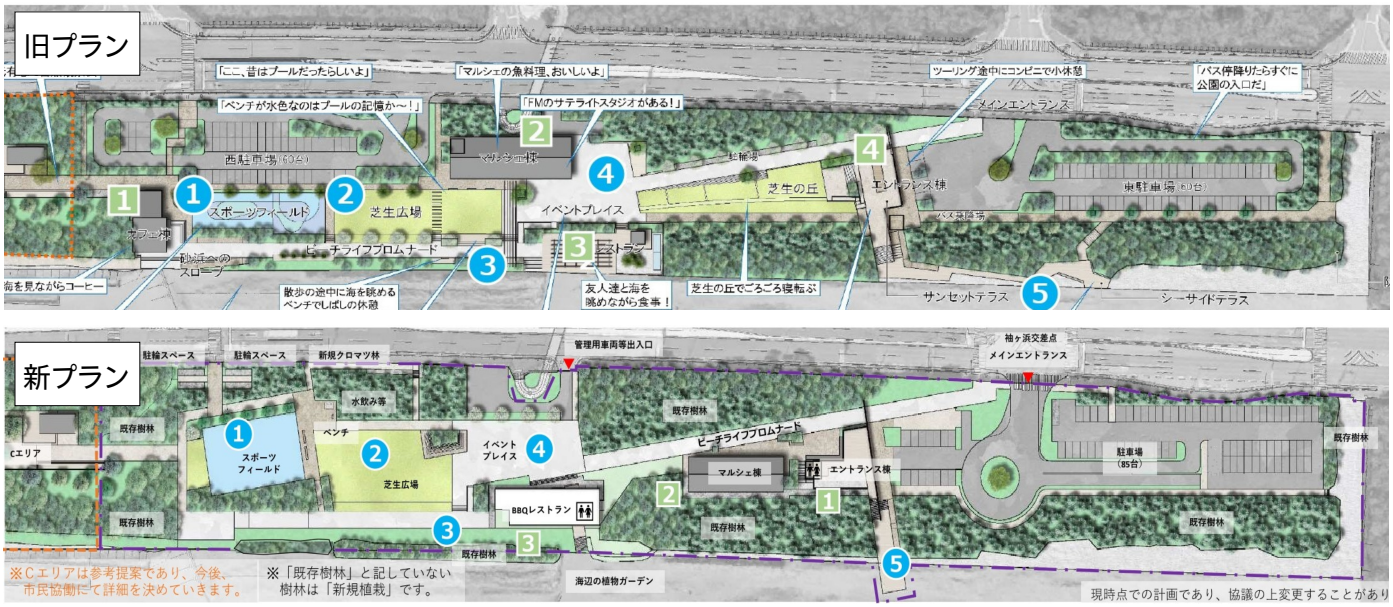
新たなプランでは、駐車場を東側1カ所に集約した結果、東側だけを見れば、収容台数が60台から85台に増えており、既存樹木の保全率は減っているように思います。果たしてこのプランで風や塩、飛砂から住宅地を守れるのでしょうか。

また、カフェ施設とバーベキューレストランを統合しますが、くつろぎの場であるカフェと賑やかなバーベキューが共存できるとは思えません。

このような提案では、事業者が収益施設の経営努力を怠っているように感じます。

その原因として考えられるのは、事業者に対して向こう20年分の公園の維持管理費6億円を保障しているからだと思います。

地域住民の安心・安全な生活環境が守られることを前提に、利用者にとって魅力ある施設となるよう、代表企業である積水ハウス株式会社に意見を伝えてまいります。皆様のご意見等がありましたらお聞かせください。



出典：平塚市ホームページ（https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/koen/page49_00091.html）

オンライン授業が本格実施へ

私は6月定例会で、子どもたちの学びを止めないためにも、早急に対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型授業の導入を求めて質問しました。

教育委員会は９月１日に「非常時における新しい教育様式の実践と留意事項について」を各学校長宛に通知しました。

今後、児童・生徒の学習を保障するために、オンライン授業やハイブリッド型オンライン授業が実施されることになりました。

本市の新型コロナ感染者の年代別では10歳未満が最も多く、次いで20代、40代が多く、40代以下の患者が全体の7割を占めています。

子どもたちの学びを止めないためにもオンライン授業やハブリッド型授業が早急に実施されることを切に願います。